

## 環境保全・再生工事データベース

作成(更新)年月日

平成22年7月9日

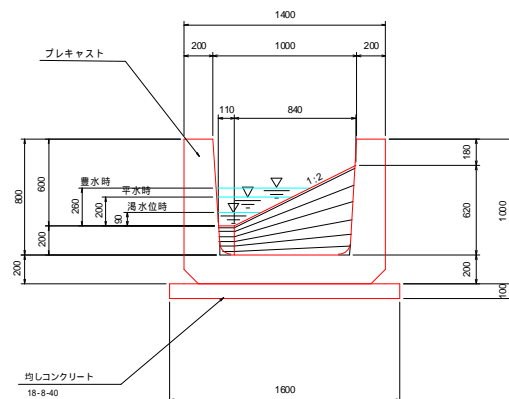
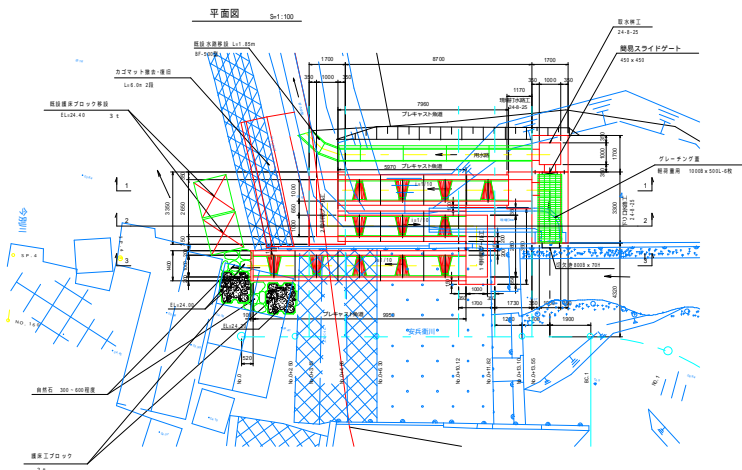
事業名	地域用水環境整備事業(魚道整備)	地区名	安兵衛	市町村名	今別町		
工種	魚道						
配慮事項区分	上下流の連続性の確保(頭首工への魚道設置)			施工年度	H20~H24		
農業地域類型	***			地形勾配	***		
事業による影響	魚道を設置することにより、頭首工で分断されていた魚類の生息環境が改善(修正)される						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	アユ、ヤマメ、イワナ、 ウグイ、カジカ、ヤツメ ウナギ	今別川水系に生息している魚類のうち、遡上や降下など河川の上下流を移動(回遊)する魚種を対象とした。					
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	魚類の移動区間として河川の連続性を損なうことなく、遡上や降下ができるように配慮した。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	今別川には数多くの魚類が確認されており、その遡上を妨げないように、また、農業水利施設としての機能が発揮され維持管理に支障を与えない位置とした。						
環境配慮5原則区分	修正						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	安兵衛頭首工魚道	用水期間	代掻き期	5/15~5/24			
箇所数 延長	3箇所 (魚道工)		普通期	5/25~9/1			
			非灌漑期	9/2~5/14			
主要構造	魚道:ハーフコーン型	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況		有り			
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m <sup>3</sup> /s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期	***	代掻き期	***	代掻き期	***
		普通期	***	普通期	***	普通期	***
		非灌漑期	***	非灌漑期	***	非灌漑期	***
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/2流量	***	1/2流量	***	1/2流量	***		
護岸	なし	1/10流量	***	1/10流量	***	1/10流量	***
		非灌漑期	***	非灌漑期	***	非灌漑期	***
		水路勾配	***	護岸勾配 土羽勾配	***		
施設底	コンクリート	施設諸元	魚道:幅100cm、高さ80cm、ハーフコーン高20~62cm、 魚道勾配1/10				
二次製品 使用有無	魚道本体:工場製作による二次製 品						

施設平面図及び構造図 (第3安兵衛頭首工)

平面図

断面図

第3号魚道工一般図



施設写真

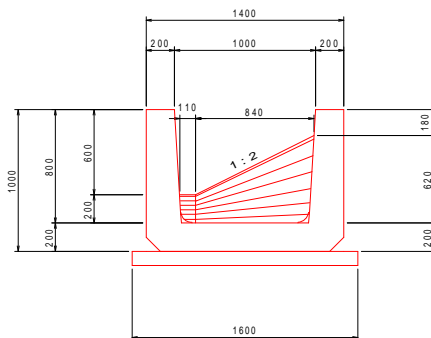
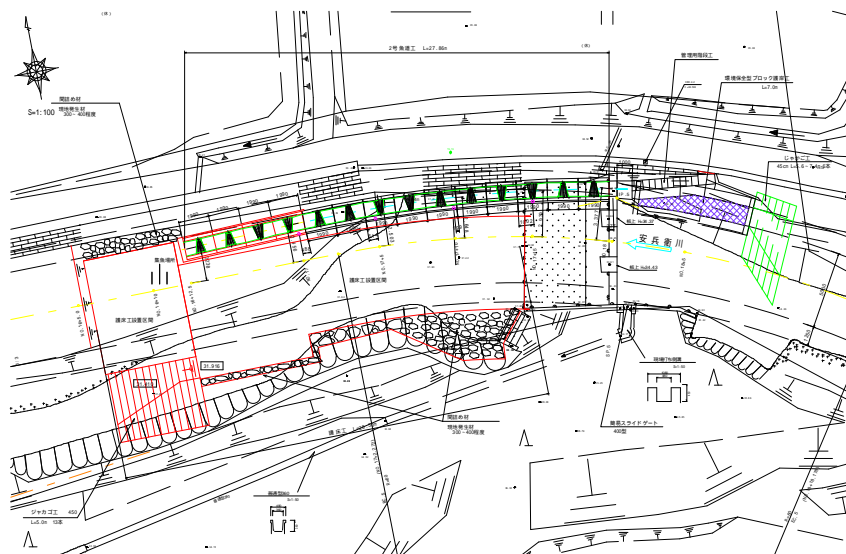


写真説明

施設平面図及び構造図 (第2安兵衛頭首工)

平面図

断面図



施設写真



写真説明

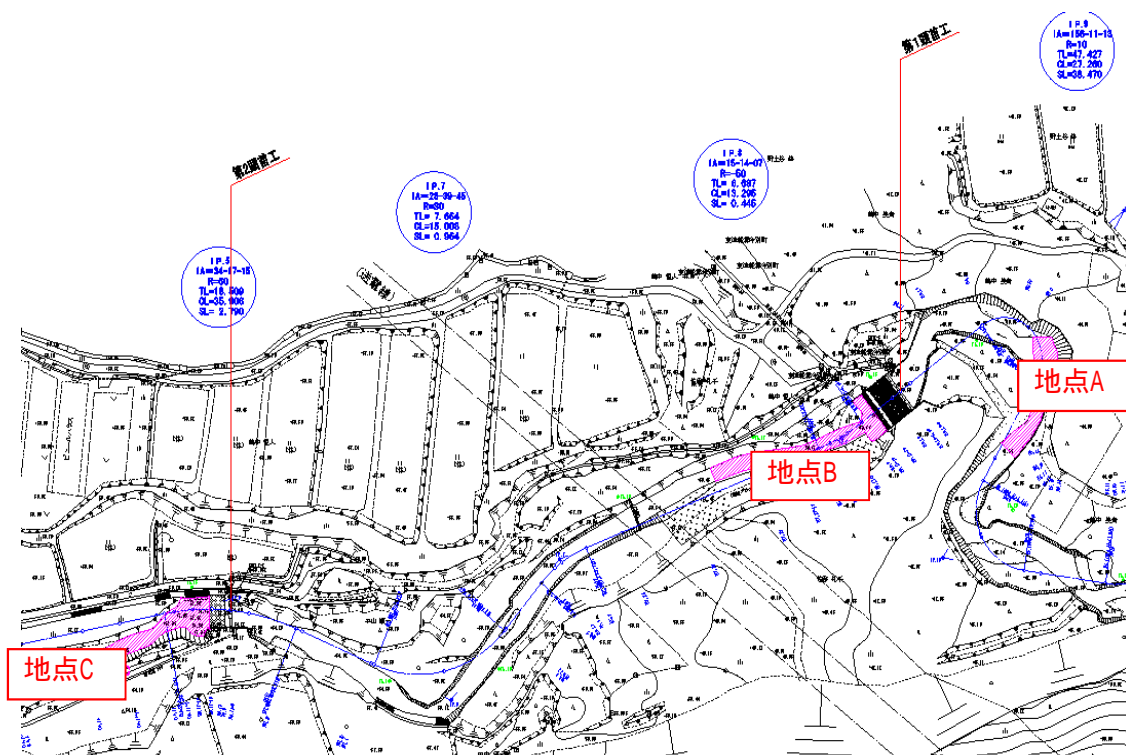
環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等				参考文献(引用、出典)		
頭首工を移動する魚類等が、容易に且つ安全に移動できるように魚道形式だけでなく、遡上・降下経路の確保・配置に配慮した。				よりよき設計のために「頭首工の魚道」設計指針「最新魚道の設計 - 魚道と関連施設 - 」 「建設省河川砂防技術基準案 同解説 計画編」 「多自然型魚道マニュアル」		
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	有り	魚類調査	H20.10.22 ～ H20.10.23	1回	捕獲法(どう、セル瓶、 建網、持網等)	魚道設置前
施工中	無し	***	***	***	***	***
施工後	無し	魚類調査	H21.8.28	1回	建網、持網	魚道設置後
工事中 の一時的 避難	避難有無	避難対象生物				
	無し	***				
モニタリング 結果概要	施工前	3箇所の頭首工上流、3地点において調査した結果、イワナ1匹、カジカ5匹が確認されたが、頭首工により魚類の遡上は困難であることから、昔から生息していたものと考えられる。				
	施工中	***				
	施工後	今別川(安兵衛川合流地点直上流)に設置されている上堰(県土整備部改修)の魚道付近及び				
モニタリング結果 からの評価		魚道設置後のモニタリング調査において、第3安兵衛頭首工上流で河川を遡上、降下するアユが捕獲されていることから、本魚道は機能しているものと思われる。				

営農を考慮した工法の検討		
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
***	***	***
維持管理を考慮した工法の検討		
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
魚類の遡上に有効な魚道プール部分は土砂が堆積しやすく、維持管理上問題となる。	土砂の堆積が少なく、維持管理が容易なハーフコンタイプの魚道とした。	***
環境配慮施設の施工面での留意点、工夫点		
留意点		
工夫点		
環境配慮施設の今後の維持管理方法		
留意点	魚道内に堆積した土砂や魚道周辺の立木・ゴミ等の撤去は環境公共推進協議会で実施する。	
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)		
実施設計担当者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 水利防災課 主査 森初夫	
工事実施担当者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 水利防災課 主査 森初夫	
施工後モニタリング担当者職氏名	***	
データース作成(更新)者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 水利防災課 主査 安田直樹	

モニタリング結果資料

【施工前】

地点	種名	調査	10月22日		10月23日		計	
		方法	数量(匹)	体長(cm)	数量(匹)	体長(cm)	数量(匹)	体長(cm)
A		どう	採補なし					
		建網	採補なし					
		セル瓶			採補なし			
		タモ網			採補なし			
	イワナ	持ち網			1	14.5	1	14.5
	カジカ	持ち網			1	7.6	1	7.6
	計						2	
B		どう	採補なし					
		建網	採補なし					
		セル瓶			採補なし			
	カジカ	タモ網			1	8	1	8
	カジカ	持ち網			1	10	1	10
	カジカ	持ち網			1	9.3	1	9.3
	計						3	
C		どう	採補なし					
		建網	採補なし					
		セル瓶			採補なし			
		タモ網			採補なし			
	カジカ	持ち網			1	10.5	1	10.5
	計						1	
合計						6		

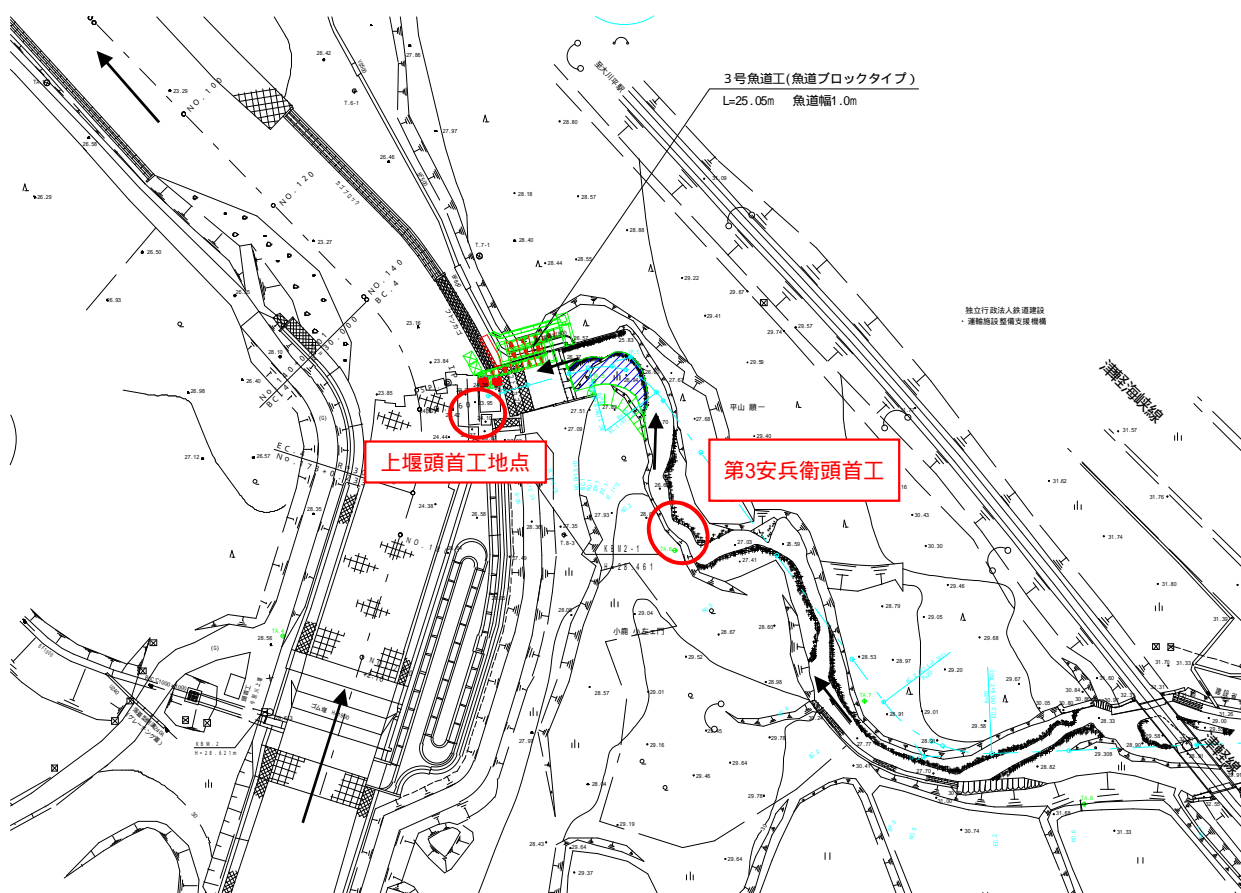


モニタリング結果資料

【施工後】

調査日:H21.8.28

	上堰頭首工(今別川)		第3安兵衛頭首工上流(安兵衛川)	
	採捕数(匹)	体長	採捕数(匹)	体長
イワナ	0	-	2	20cm
アユ	12	10~15cm	1	12cm
ヤマメ	1	22cm	0	-
ウグイ	2	15cm	0	-
カジカ	3	6~7cm	0	-
カニ	1	5cm(甲羅)	2	5cm(甲羅)



その他特記事項